第１回
有志ディスカッション

2022/10/16＆17

フットサル日本連盟　ガバナンスコード委員会

アスリート委員会

©日本フットサル連盟アスリート委員会

アスリート委員会　member

2021年に日本フットサル連盟よりご指名を頂き「アスリート委員会ワーキンググループ」として準備を進めてきました。
2022年6月より正式に「アスリート委員会」が設立され、連盟より任命を頂いたメンバーとなります。

荒牧　太郎

Fリーグ

バサジィ大分

星　翔太

元日本代表・名古屋オーシャンズ

引退後はMIXIに入社

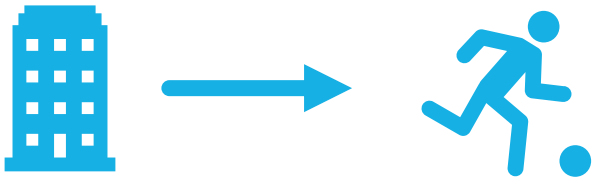
若林エリ

日本女子フットサルリーグ

アルコ神戸

©日本フットサル連盟アスリート委員会

アスリート委員会がなぜ必要なのか？



スポーツ庁　　日本フットサル連盟

スポーツ庁よりスポーツ団体が適切な組織運営を行うための原則・規範としてスポーツ団体ガバナンスコードを策定することとしている。

スポーツ庁が提示している
『スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>の原則2』の中に、

原則２ 適切な組織運営を確保するための役員等の体制を整備すべきである。

(1) 組織の役員及び評議員の構成等における多様性の確保を図る

③ アスリート委員会を設置し，その意見を組織運営に反映させるための具体的な方策を講じること

フットサル連盟がより良い組織になっていく中で必要な設置となります！！

©日本フットサル連盟アスリート委員会

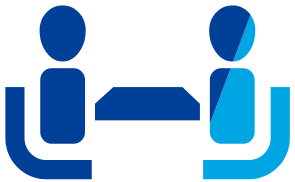
アスリート委員会とは？

スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>の原則2において、
アスリート委員会の設置が記載されており、日本連盟として対応が必要になります。

日本フットサル連盟としてのアスリート委員会コンセプト

アスリート委員会は、日本フットサル連盟の一組織として、組成され、他スポーツ団体にみられる選手会のような労使関係の組織ではなく、連盟との協力関係組織として、フットサル発展に貢献します。

JFA -JPFA



JFA

JPFA
日本プロ
サッカー
選手会

労働組合

JFF -アスリート委員会

JFF

アスリート委員会

協力組織

©日本フットサル連盟アスリート委員会

アスリート委員会が担う活動は？

■アスリート自身の持つ課題感、日本連盟との連携、フットサル界が果たすべき社会貢献
これらの文脈に対して、アスリート委員会は活動していきます。

アスリートとしての

課題感・問題提起

アスリート委員会の

担う活動領域

日本連盟との連携

社会貢献

©日本フットサル連盟アスリート委員会

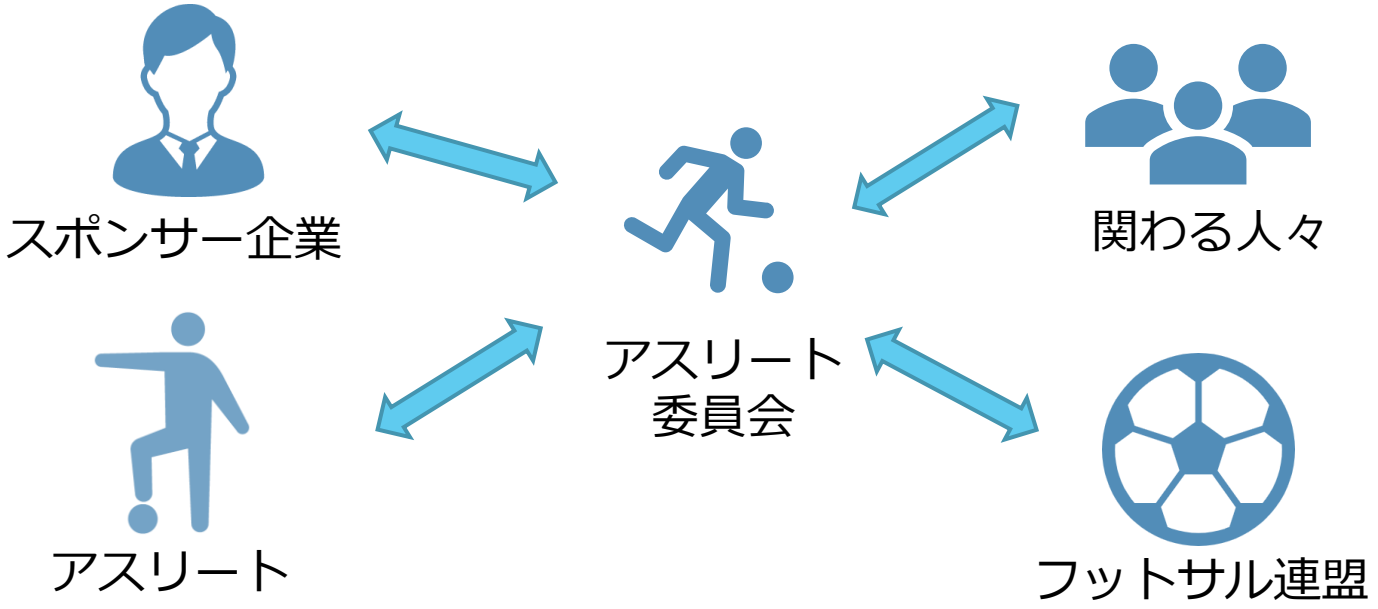
アスリート委員会の役割とは？

■フットサルに関わる人々の持つ”課題感”や”アスリート委員会として取り組むべきことは何か”を起点に、委員会としての役割を持ちます。

■アスリートや、取り巻く人々の間に立ち、フットサルに関わる全ての人々の想いを繋げ、形にしていきます。

目的

アスリートの立場からフットサルに関わる全ての人々とのコミュニケーションを促進し、あらゆる場面での環境整備に対し、「発信・提案・実行」を行い、フットサル界の発展に貢献していくことを目的とする。



©日本フットサル連盟アスリート委員会

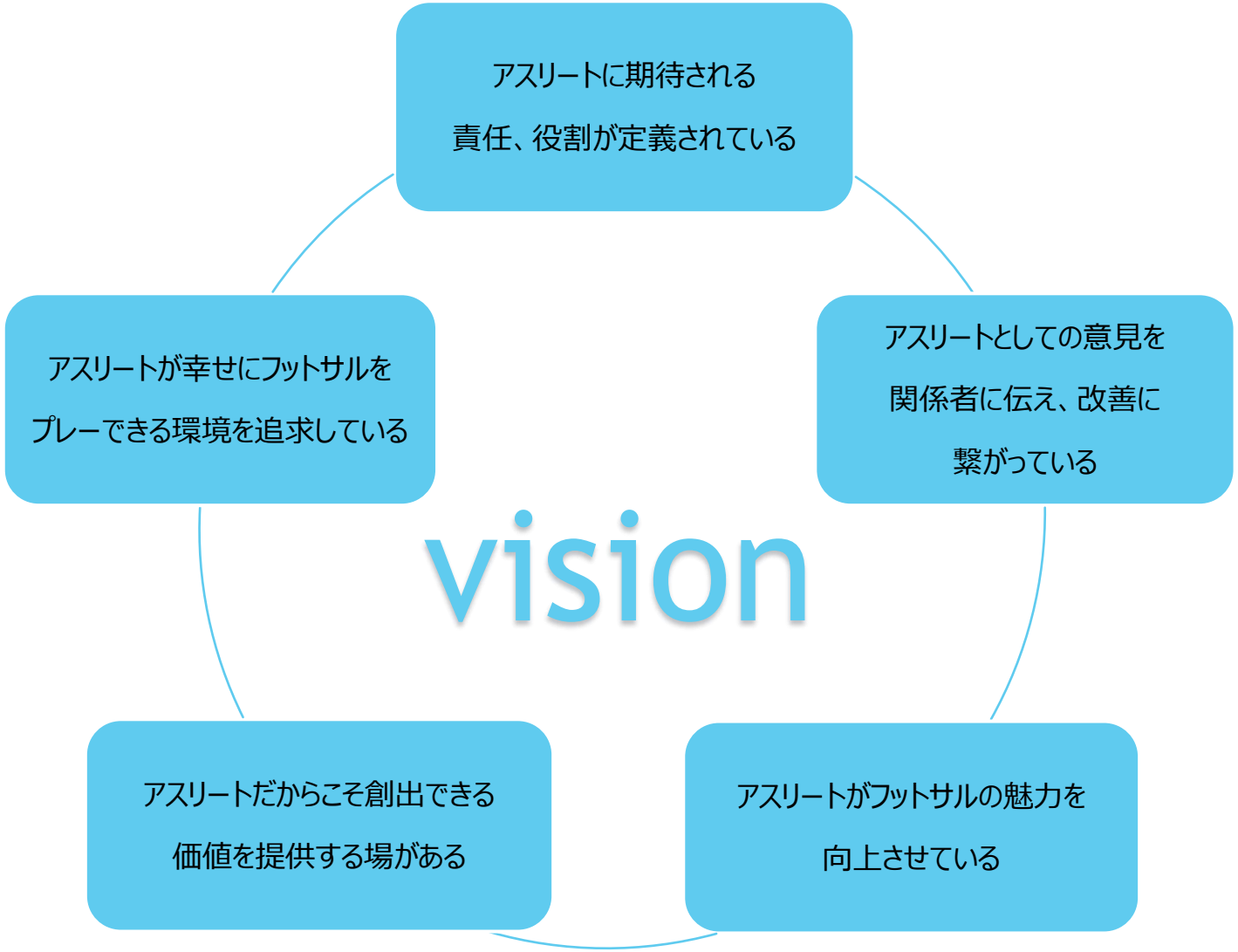
アスリート委員会の「MISSION」

MISSION		
目的を達成するために、意見・情報等を集め、検討・議論を行い、各所へ提案・発信・連携する。		
① フットサルを取り巻く人たちからアスリートへ	② アスリートからアスリートへ	③ アスリートからフットサルを取り巻く人たちへ

フットサルを取り巻く人とは？？
フットサルに関わってくださるすべての人たちを指します。
例えばサポーターの方々だったり、スポンサーの企業の方々。
あなたが考える「取り巻く人たち」はどんな人を思い浮かべますか？

©日本フットサル連盟アスリート委員会

アスリート委員会として掲げる「vision」



©日本フットサル連盟アスリート委員会

「vision」に近づく為にアスリート委員会として目指すもの

©日本フットサル連盟アスリート委員会

今後行っていくアスリート委員会としての活動とは？

Can(やれること)

スキル：
これまでの経験による影響力、知見

人脈：
ネットワーク等のコネクション

マンパワー：
アスリート全体が持つ人数、組織力

×

Must（やるべきこと）

- フットサルのアスリートとしてのレガシーの継承
- 連盟との協力関係構築・維持継続
(普及育成強化や各種利害関係の調整等)
- アスリートからの提案機会を創出
- アスリートとして果たすべき社会貢献追及活動の実施

©日本フットサル連盟アスリート委員会

あなたが考えるアスリート委員会で出来ることとは？

やれること（Can）

×

やるべきこと（Must）

先ほどのページで説明した
「やれること×やるべきこと」
を頭においてフットサル界がより良くなる
活動やアイディアを出してみてください！！

©日本フットサル連盟アスリート委員会

END

有志ディスカッションは以上になります。
お疲れさまでした。

フットサル界発展の為には皆様のお力が必要です。
ぜひ今後も有志ディスカッションへご参加ください！！

アスリート委員会一同

©日本フットサル連盟アスリート委員会